

校長室だより

令和7年10月24日（金）
第 26 号
十日町市立中条中学校校長室

令和7年度 中条中学校合唱コンクール

10月16日（木）に越後妻有文化ホール「段十ろう」で、中条中学校合唱コンクールを行いました。平日にもかかわらず多くの保護者、地域の皆さまにご来場いただき、生徒への激励をしていただきました。成功裏のうちに開催できたことは、十日町市や指定管理者当局のご支援の賜物だと感じております。大変ありがとうございました。ここで、合唱コンクールの位置づけと振り返りを私なりにまとめさせていただきます。



合唱コンクールの位置づけ

合唱コンクールは、学習指導要領の中では、「特別活動、学校行事、文化的行事」に位置づけられています。文化的行事にて身に付けたい資質・能力は以下のとおりです。（一部抜粋）

- (ア) 日ごろの学習活動の成果の発表を通して、各教科などで習得した知識や技能を更に深めせるとともに、発表する能力を育てたり、他者の発表等を見たり聞いたりする際の望ましい態度を養うこと。
- (イ) 様々な文化的な活動を通して個性を伸ばし、自主性、創造性を高めるとともに、目的に向かい協力してやり遂げることにより成就感や連帯感を味わい、責任感と協力の態度を養うこと。また、異学年相互の交流を図りながら、学校独自の文化と伝統を継承し、特色ある学校づくりを推進するとともに、生徒の学習活動の成果を学校の内外で発表することにより、家庭や地域の人々との交流を深め、学校への理解と協力を促進する機会とすること。

学習指導要領を受け、当校の合唱コンクールでは、以下のねらいを立てています。

- ねらい** ○生徒が、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して合唱することができる。
○合唱活動を通して生徒が主体的に活動し、学年、学級における協力の心を深める。

学習指導要領と当校の目標の観点から、合唱コンクールを振り返ってみます。

○生徒が、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して合唱することができる。

開会式で「合唱コンクールは、学校行事の中でも準備に長い期間をかけて行う行事です。夏季休業前に曲を決め、指揮者、伴奏者、パートリーダーやパートを決める。そこから音楽の授業で少しずつ練習を重ねていく。体育祭が終わった頃から、エンジンをかけなおし、仕上げに入っていく。各学級で、様々な場面の中で、大なり小なりの意見のぶつかりや相違があったと思います。それを乗り越えてこの場に立っている。それを乗り越えているからこそ、きっと素晴らしい合唱を作り上げることができるはずです。」と話しました。

私はほとんど練習を見ませんでした。当日の姿で評価しようと思ったからです。当日を見る限り、ここまで各学級・学年が丁寧に作り上げてきた素晴らしさが伝わってきました。感動の連続でした。特に3年生は審査に大変迷いました。例年にも増して素晴らしい合唱でした。

○合唱活動を通して生徒が主体的に活動し、学年、学級における協力の心を深める。

審査員の中町先生のコメントを掲載しました。今年は、学級のまとまりや掛け合い、協力などにおいて多くのプラスの評価でした。特に印象的なのは、指揮者や伴奏者に対する評価の高さです。能力を持ったリーダーが多く、しかもそれを支えるフォロワーの関わりから、感動的

な合唱を披露できたと思います。合唱を聞く限り、フォロワーも言われてやる姿ではなく、自分たちで作上げる主体性を感じました。これも特に3年生の合唱で、その様子を強く感じることができました。

学級の合唱だけでなく、各学年の合唱もとてもよかったと思います。学年ごとの良さを感じ、そして、学年が上がるごとに迫力や繊細さも感じられる合唱でした。1、2年生は一つ上の学年の合唱をモデルとして、来年の合唱は、自分たちの合唱だけでなく、そのモデルを超えられるような響きを目指してほしいと思います。



保護者アンケートでは、生徒の取り組む姿勢が「たいへんよい」に91%、肯定的評価は100%でした。感想や意見のコメントでも多くのお褒めの言葉をいただきました。

今年度も審査員として、中町初美先生にお願いしました。各クラスの評価、コメントです。

1年1組	素直できれいな声、男子の安定した声がよかった。Dream～ 一体感が感じられた。丁寧に練習してきた感じ。最後が美しかった。合唱をリードする指揮、安定した伴奏、盛り上がる場所とそうでない場所の差をつけることで訴えがもう少しよくなる。
1年2組	ハーモニーがしっかりしている。6/8 拍子の難しさがある。指揮、伴奏が曲の雰囲気をつくっていた。「さあ、そう」の訴えが伝わってきました。口の中がもう少し開くようになると響きがよくなると思います。
1年合唱	指揮者、伴奏者のよいテンポ感があり上手。学年の一体感、一生懸命さが伝わってくる。みんなで前に進んでいこうとする気持ちが伝わってきた。ブレスのないところでメロディーが途切れるところがあり残念。しっかり歌えているので、これからが楽しみ。
2年1組	丁寧に語り掛ける歌い方、きれいな空を思い浮かべるような掛け合いから、盛り上げ、訴えがよかった。指揮と伴奏が曲の雰囲気をうまく作っていた。合唱の一体感、高い音にやや苦勞していた。息のスピードを意識してみましょう。
2年2組	曲にふさわしい美しいピアノの響き、クレッシェンドの盛り上げ方がよかった。2番から一体感、丁寧さ、盛り上げ、曲の変化を意識した表現が工夫されていた。女子だけのところ頑張りましたね。もう少したくさん息が吸えるようになると響きがよくなると思います。
2年合唱	学年全体という安心感、のびのびと歌っていた。さすが2年生。サビの盛り上げ、力強さに引き込まれました。指揮、伴奏とても上手でした。ブレスの前の音がプチッと切れるところが少し気になりました。
3年1組	指揮者の音楽性、難しい伴奏、素晴らしい。掛け合いから一体感にもっていく作り方、言葉の訴えがとても伝わってきて感動した。ソロ、上手だったけど、もう少しやさしい歌い方で、全体とは違って、聞いている人をハッとさせるようなやり方もあります。
3年2組	少ない人数だけど、声がしっかり届いていた。曲の変化をしっかりと理解して表現を工夫していた。盛り上げが十分伝わってきた。難しい曲を作り上げた指揮者、伴奏者が素晴らしい。「ラーラ 響きを後ろにもっていくようにするときれいに響く」と思います。
3年合唱	安定の3年生、一体感、訴え、とてもよかった。1番2番の出だしはもう少しやさしく、サビと歌い方の違いをつけることでサビが生きてくる。みんなで気持ちを一つにして歌い上げることができていました。